



泉田知事に意見書を提出

県央地域に救命救急センターを設置し、当地域の医療提供体制の抜本的改善を求める意見書

本市議会は、加茂市・田上町など「県央地域における医療提供体制が極めて深刻で重大な事態」にあることを憂慮し、その抜本的改善策を求めるものです。

県央地域と重なる第二次医療・巻三条圏では、関係者の懸命な努力にもかかわらず、恒常的・絶対的医師不足をはじめとして、医療環境は地域完結に程遠く、医療の不在さえ懸念せざるを得ない状況にあります。また、これまでも診療機能縮小の悪循環を繰り返してきた当地域県立病院は、経営改善と称し更なる役割後退を求められ、地域住民は医療不安の最中にあります。

一方、「医の原点とも言われる救急医療」における当地域の深刻な現況は、目を覆うばかりであります。加茂地域消防署における救急車の管外搬送率は六割を超え、一刻を争う傷病者の病院収容平均時間は国・県平均を十分も上回る四十分にも達し、受入れ病院探しの苦慮は常態化しています。

こうした中で、新潟県は健康福祉計画の改定にあたり、第二次保健医療福祉圏域などを検討・見直しすると伺っています。

ついでに、医師や医療機関の不足など、当地域の猶予できない医療ニーズへの的確な対応展開は行政の責任であります。

また「医療計画の見直し」による、確実・安心な医療提供確保策を示すことは、新潟県政における最重要緊急課題であると認識するものです。

よって、以下の事項の確実な実現を強く要望いたします。

記

- 一、県央地域を第三次医療圏として設定し、救命救急センターの設置を図られること。
- 二、県立病院改革においては、地元の意向を踏まえ、地域住民医療の確保・充実の要求に即されること。
- 三、加茂病院は民営化せず、県立病院として充実に図ること。
- 四、医師や病院機能確保など、医療提供体制の充実向上について市町村と十分協議を行うこと。
- 五、産科の病院が、加茂市・田上町地域に全くなかった現状にかんがみ、加茂病院の産科をすみやかに再開すること。

以上、地方自治法第九十九条の規定により意見書を提出いたします。

平成十七年七月一日

加茂市議会議長 関 龍 雄

主な内容

- 一般会計補正予算を可決 …… (2)
- 一般質問に8人が登壇 …… (4)
- 常任委員会の審査から …… (6)
- 30人以下学級の実現など採択 …… (7)
- 議決状況一覧表 …… (8)

6月定例会の最終日の7月1日に、上記の意見書を議決し、直ちに泉田新潟県知事及び病院局長あてに提出しました。

今後、当局と両輪となり、これらの要望実現に向け、一丸となって取り組むことが、大きな課題となっています。

一般会計補正予算を可決

市保有宅地取得資金預託金など五千八百万円増額

6月定例会

六月定例市議会は、二十日から七月一日まで会期十二日間で開かれました。この定例会では、各会計補正予算、人事など市長提出議案八件を慎重に審議の結果、監査委員の選任については不同意とし、そのほかすべて承認、原案可決しました。

また、議員提出の意見書四件を原案可決し、関係機関へ提出しました。

この定例会に、市長から提出された議案の内容は、次のとおりです。

補正予算

一般会計は、五千八百三十七万九千円を増額し、予算の総額を百二十九億三千二百二十九万九千円とするものです。

歳出の主なもの、中小企業

金融対策費七百七十一万四千円、加茂市保有宅地取得資金預託金四千八百万円、街路単独事業費二百三十万円などを増額するものです。

老人保健特別会計は、一千百三十万五千円を増額し、予算の総額を三十一億一千三百四十万五千円とするものです。

歳出の主なもの、平成十六年度分支払基金交付金の精算に伴い、諸支出金一千百三十万五千円を増額するものです。

条例改正

加茂市都市公園条例は、都市公園

法が改正されたことに伴う引用条項の項ずれ及び字句の改正による関係条文の整理を行い、合わせて市長の許可を受けないで特別な公園使用を行った場合の過料の額を、一万円から五万円に改正するものです。

定例会日程

- 20日 本会議・議会運営委員会
- 21日 本会議・全員協議会
- 22日 本会議
- 23日 連合審査会
- 24日 産業建設常任委員会
- 27日 社会厚生常任委員会
- 28日 総務文教常任委員会
- 7月1日 本会議

市道路線 地元の要望等により、市道路線の認定をするものです。

物品の購入 体操トレーニングセンター内に設置される体操備品を購入するものです。

議会選出の監査委員は 不同意

人事 定例会初日の本会議で、議会選出の監査委員に、安田憲喜氏を選任することにについては、投票の結果、不同意となりました。

専決処分 国民健康保険特別会計補正予算は、平成十六年度国民健康保険特別会計の決算見込みで歳入が歳出

不足することから、平成十七年度の歳入を繰り上げて、これに充てたものです。

に不足することから、平成十七年度の歳入を繰り上げて、これに充てたものです。

歳出の内容は、前年度繰上充用金八千五百六十五万六千円です。

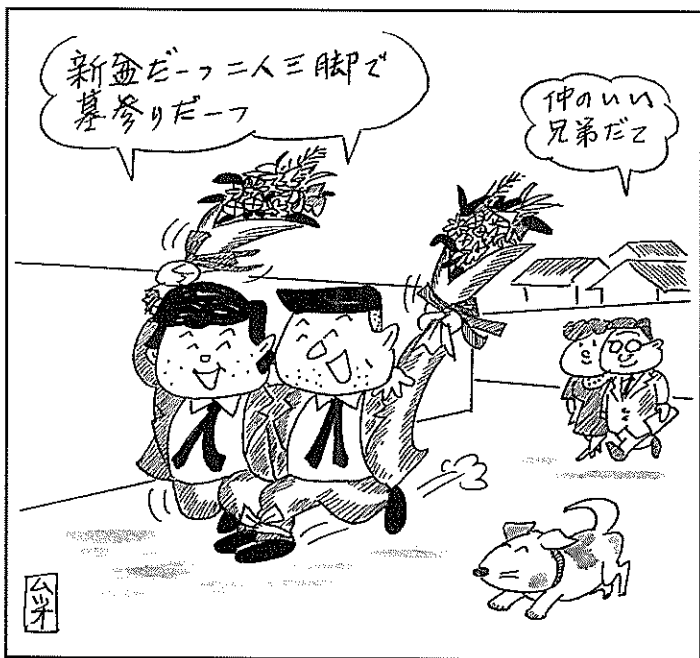
この結果、予算の総額は二十六億七千七百八十八万八千円となりました。

老人保健特別会計補正予算は、平成十六年度老人保健特別会計の決算見込みで歳入が歳出に不足することから、平成十七年度の歳入を繰り上げて、これに充てたものです。

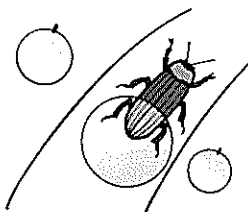
歳出の内容は、前年度繰上充用金五千五百五十七万六千円です。

この結果、予算の総額は三十一億二千九百二十九万九千円となりました。

七月二十二日に臨時市議会が開かれました。市長から提出された議案は、体育施設条例の一部改正の一件で、原案可決されました。



兄弟仲 羽生 六男



7月臨時会

七月二十二日に臨時市議会が開かれました。

市長から提出された議案は、体育施設条例の一部改正の一件で、原案可決されました。



副議長 安武秀敏



議長 関龍雄

議会構成を見直し任期後半へ

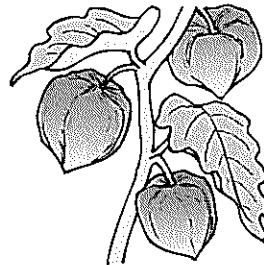
議長に 関龍雄議員

副議長に安武秀敏議員

去る六月の定例市議会におきまして、私どもは議員各位のご推挙により、名譽ある議長、副議長の要職に就任いたしました。もとより浅学非才ではありますが、その重責を十分認識し、任期後半の円滑な議会運営と市政発展のため精進する覚悟であります。
今日、政府は日本が持続的な経済成長を取り戻すため、経済や財政、行政、社会の各分野における構造改革を進めているところです。
本年は、改革の大きな流れを作り出す「改革本番の年」であり、「経済再生の基盤を築く年」としています。
加茂市においても財政が厳しいなか、行政需要がますます複雑多様化し、克服すべき数多くの課題を抱えておりますが、市当局ともども、この二十一世紀、市民生活・福祉のさらなる充実に邁進してまいりたいと考えております。
市民各位のご理解とご協力をお願い申し上げます、就任のごあいさついたします。

議会人事の構成替えは、連休明けから約一カ月の各派交渉会の議論を経て、本会議初日の休憩間に各派交渉会を開催した結果、ようやく任期の後半二年を担う、議会の新しい構成がまとまりました。
その後直ちに、日程追加により正副議長からの辞職願いを許可し、選挙を行い投票の結果、議長には関龍雄議員、副議長には安武秀敏議員を選出しました。
次いで、常任委員・議会運営委員の選任、医療問題特別委員の選任、一部事務組合議会議員

の選挙、農業委員会の委員の推薦など議会の人事構成を決めました。



新しい議会の構成

Table with 22 columns (numbered 1-22) and 5 rows. Columns include name, party, club, committee, and group. Row 1: 22 古山一作 無 市民クラブ 産建. Row 2: 21 今井詔一 共 市民連合 総文 議連. Row 3: 20 星野昭吾 社 市民連合 総文 議連. Row 4: 19 大野正三 共 日本共産党 産建. Row 5: 18 佐野正三 公 ☆公明党 ◎総文 医療. Row 6: 17 関龍雄 無 市民クラブ 社厚. Row 7: 16 樋口浩二 無 市民クラブ 社厚 ◎議連 医療. Row 8: 15 安武秀敏 無 市民クラブ 総文. Row 9: 14 大関勝正 無 市民連合 社厚 医療. Row 10: 13 樋口博務 無 市政クラブ 産建. Row 11: 12 高橋禧雄 無 市政クラブ ◎社厚 議連. Row 12: 11 茂岡明司 無 ☆市政クラブ 総文 議連 ○医療. Row 13: 10 安中弘 無 市民クラブ 産建 議連. Row 14: 9 安田憲喜 無 ☆清流クラブ 社厚. Row 15: 8 小野吉太郎 無 清流クラブ ◎産建 医療. Row 16: 7 中野元栄 無 市民クラブ 総文 議連. Row 17: 6 山田義栄 無 清流クラブ 総文 ○議連. Row 18: 5 高井保太郎 無 市民クラブ 産建 医療. Row 19: 4 安中利男 無 清流クラブ ○社厚. Row 20: 3 広野豊作 無 市政クラブ ○産建. Row 21: 2 田沢弘一 無 無所属. Row 22: 1 森山一理 無 市政クラブ ○総文 医療. Row 23: 議席 氏名 党派 派 委員会 所属

【注】◎委員長 ○副委員長 ☆党派代表者
委員会
総文=総務文教常任委員会
産建=産業建設常任委員会
社厚=社会厚生常任委員会
議連=議会運営委員会
医療=医療問題特別委員会

一部事務組合議員
消 防=加茂市・田上町消防衛生組合
中福祉=新潟県中越福祉事務組合
水 道=三条地域水道用水供給企業団
さ福祉=さくら福祉保健事務組合

403号バイパス、加茂大橋の進捗について

市民クラブ 高井 保 議員

質問 ① 四〇三号バイパスと加茂大橋の完成が、これからの加茂市の将来を大きく占う。進捗状況と完成年度を尋ねる。

② 文部科学省が、中越地方を中心とする二十四市町村の公立中学校二百五十校を対象に、耐震診断調査をしたと報道されているが、加茂市の小中学校は入っているかどうか。

③ 行政改革のひとつとして、私は議員定数削減をやり遂げたいと思っている。市長も情報公開条例を提案し制定されることを願う。

答弁 ① 四〇三号バイパスについては、去る六月七日待望の田上庁舎のところまで開通した。

市政の内容を聞く

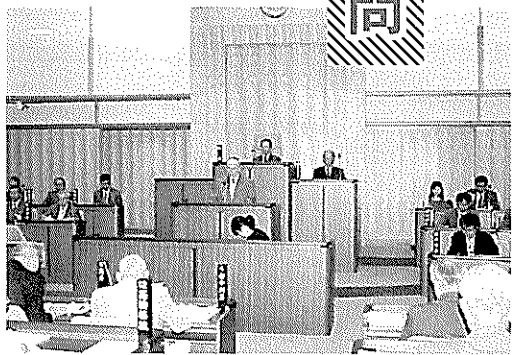
一般質問

六月定例会では初日から八人の議員が

一般質問を行い市政全般について所見や

執行状況を問いました。その要点

をお知らせします。



6月定例会本会議

携帯電話の使用不能地域の解消について

清流クラブ 小野吉太郎 議員

今後、小須戸方面、三条方面とも、期成同盟会の会長として頑張りたい。加茂大橋について、一応は、全体の完成は平成二十年代の早い時期を目標としている。しかし、加茂市としては、県が昨年度まで目標としていた平成二十年早期の渡り初めを強く要望してまいりたい。

② 災害救助法の適用になった市町村が対象で、加茂市は対象外であった。

③ 加茂市の議員四人分で約二千万円ばかりの金を毎年節約するために、なぜ議員の数を減らそうとするのか。私は市会議員の数の削減は、民主主義の自殺であると考えている。

また、情報公開条例は、少し時間的余裕ができたところで、慎重な検討に入りたいと思っております。

質問 ① 携帯電話の普及率は、全国で八五%であり、九千万台とも言われている。携帯電話は、今や車とともに、文明社会の生活の中で衣食住の大切な一部となっている。加茂市においては、山間地に入ると電波が届かない所が多く、特に七谷地区では、国道二九〇号線沿いや県道を外

れ、山間集落に入ると全く使用できない状況にある。若者はそんなところに住みたくない、結婚しても家に入らずアパート暮らしをしている現状である。ついては、携帯電話の使用不能地域の解消に、市長の強い政治力を期待したい。

② 近年の出生率と高齢化率について、七谷地区と加茂市の数値の推移を聞きたい。

新たな産業創出へチャレンジを

市政クラブ 広野豊作 議員

質問 ① 林野庁で行った調査で、森林を歩くと免疫細胞の働きが高まることが確認された。

また、改めてふるさと志向が高まってきているこのとき、加茂市の小京都観光政策も見直しが必要と考える。残された新町以東地区の商店街近代化事業をその一環としてとらえ、小京都らしさを演出させる最後の砦として位置づけて進めてもらいたい。

② 本年六月から景観法が施行集に努め実現へ向けたらどうか。

答弁 ① 森林の健康増進効果や療法効果については、医学的

な根拠が十分に解明されていないとして、林野庁は昨年三月に森林セラピー研究会を創立し、産学官連携により医学的な課題の解明と国民への普及を進める体制を整備している。健康をテーマとし、森林を活用した産業創出については、まだよくわからない面があるので、加茂市としては、その様子を静かに見守り、うまく行きそうであれば腰をあげるのがよいと考えている。

詳しくは会議録で六月定例会の会議録は、八月下旬に発行予定です。議会図書室、図書館、勤労青少年ホーム、老人福祉センター、各コミュニケーションセンター、新潟経営大学図書館でらんくください。なお視察報告についても、会議録と同じ場所でもらんください。

また、視察報告は、市議会ホームページでもらんくになります。

小京都加茂の観光振興について

無所属 田沢 弘一 議員

質問 ① 加茂市の観光客数と、観光協会の決算内容を聞きたい。次に、加茂駅前付近に観光案内を兼ねた休憩所を設置したらどうか。当面加茂駅の案内板の近くに透明のボックスを設置して、常時観光用の印刷物を入れておいたらどうか。これを観光協会の発行にすれば、希望する食堂等の名前を入れることも可能となる。また、休日の一定時間を駅前から若宮町までを歩行者天国としてみたらどうか。また、パーキングエリアやJRの駅に観光パンフレットを置いていくかどうかわからない。

② 加茂市の一昨年の小中学生の体力テストの結果を聞きたい。

答弁 ① 加茂市の平成十六年度の年間観光客数は六十二万四千人で、平成七年度は三十五万八千人である。観光協会の平成十五年度決算額は百八十四万一千五百六十円である。提案の新たな観光案内所の設置は、経費的にもかさむので、加茂駅と連絡を密にして利便を図りたい。ボックスの提案は念頭におきたい。
ながいきストリートの事業展開については、商店街協同組合

や警察と相談していきたい。また、パーキングエリア等その他の施設にパンフレットを置いてもらえるか考えていきたい。

ジャパンブランド育成支援事業について

市民クラブ 安中 弘 議員

質問 ① 去る六月一日に平成十七年度ジャパンブランド育成支援について支援対象プロジェクトとして採択された。このプロジェクト事業を具体的に推進していくことになるが、いつまでに何を達成するのか。特に木工業界や加茂市の地域経済にとつてどのような効果を生むのか、また、推進にあたっては、かなりの専門性が必要と考えるが、加茂市としてどのようにかわっていかのかわりたい。

② 加茂商工会議所が「加茂産業振興ビジョン」を策定したが、加茂市の商業振興にかかわる政策は、業界と連携し実行性の上がる政策に転換すべきと考えるが、市長の考えを伺う。

② 全国平均に比べて加茂市の平均がやや下回っている。今後、創意工夫によって、子供たちの体力向上に努めたい。

加茂市の水害対策について

市民クラブ 中野 元栄 議員

質問 ① 昨年の七・一三水害から十一カ月が経過したが、加茂市における防災対策について信濃川、加茂川、下条川は大丈夫かどうか心配である。加茂市の安心、安全は確保されるのか

② 六月十日に食育基本法が成立し、子供たちが豊かな人間性をはぐくみ、生きる力を身につけていくために、なにより食が重要であると明記されている。

加茂市の食育に対する現状と、これからについて考えを聞きたい。

① 信濃川の嵩上げについては、さらに延長され、旧新津市の小阿賀野川合流点から五十嵐川合流点までの区間約二十九・八キロと刈谷田川合流点付近の約四・四キロを加えた三十四・二キロについて、平成二十年度までに完了する予定となっている。

中部北陸自然歩道や里山の活用について

市政クラブ 森山 一理 議員

大正川については、現在進行中の改修計画に排水機場が入っていないことがわかり、国土交

質問 ① 中部北陸自然歩道は新潟から滋賀までの八県にまたがり、そのうち加茂市を通る道は「雪樺の道」と「姫の城古の道」の十四・二キロである。その支線として「里山の資源活用構想」がある。学校教育の中でエンパワメントを高める手法として、里山散策カリキュラムの創設を希望し、現在の市内小中学校の自然学習、校外学習の現状とその効果、今後の取り組みを尋ねる。また、加茂市のホームページに「雪樺の道」をはじめとする市内にかかわる里山散策の項目を追加されたい。

② 訪問販売、振り込み詐欺、携帯電話詐欺対策について、加茂市の対策を聞きたい。

① 中部北陸自然歩道の

通省の佐藤技監をお願いしたところ、県の対応も素早く、本年度詳細設計を行うこととなった。加茂川、下条川については、信濃川の嵩上げに伴い、逆流して加茂市内に流れ込むことから、堤防の嵩上げと下条川上流の改修再開を国・県に要望したところである。

② 食育については、これから作成される国及び県の食品推進基本計画を待って、具体的な取り組みについて検討を行い、的確に対応してまいりたい。

整備については、全面的に参入し、大登峠等は整備され、八幡森公園にはトイレが作られた。なお、「里山の資源活用構想」は市町村長に十分相談して作られたものではない。いずれにしても、小京都加茂市全体が一大自然公園であり、小中学校でも折に触れて児童生徒を遊びに行かせてもらいたいと思っている。「加茂市のハイキングコース」という冊子をつくることで、まだ出ていないので、プロジェクトチームをつくり、取りまとめ、インターネットにも掲げたい。

② 悪質商法の被害にならないよう、「広報かも」にも適宜啓発記事を掲載しているが、今後警察署と連絡を密にし、必要にして十分な対策を講じたい。

地域学校安全体制整備推進について

公明党 佐野正三良 議員

質問 ① 文部科学省では平成十七年度において、地域ぐるみの学校安全体制整備の推進事業を新規に予算に盛り込んだが、加茂市の取り組みはどのようなものになっているか尋ねる。

② 厚生労働省は、高齢者虐待防止のためのネットワーク形成、運用を行うとして本年度予算化した。高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会の設置について当局の考えを聞きたい。

③ 光ファイバー網整備による産業の活性化について、今後の取り組みについて具体的に聞きたい。

答弁 ① 加茂市は児童生徒の安全確保のために、本年五月よりスクールバスを増発して、計二十四台とした。この政策は国主導の政策よりはるかにすぐれた政策だと思っている。あとはさらに注意すべきエリアについて気を配っていききたい。

② 高齢者虐待防止ネットワークの構築については、現在の加茂市の体制としては、在宅介護・看護支援センターを中心として一元的に対応しており、市としては既にその体制にあるので、新たにネットワークを構築する必要はないと思っている。

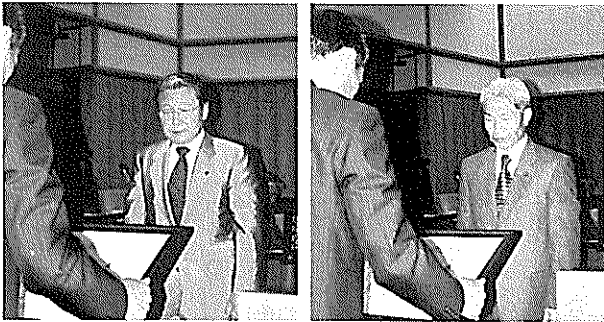
③ 光ファイバー網の整備については、今後ニーズが高まって技術開発が進展すれば、早晚NTTが安い料金で提供できるようなことになるのが考えられるので、動向を注視していききたい。

議員表彰

全国市議会議長会から永年在職議員として表彰された、次の方々の表彰状伝達式が、定例会初日の開議に先立って行われました。

【一般表彰】

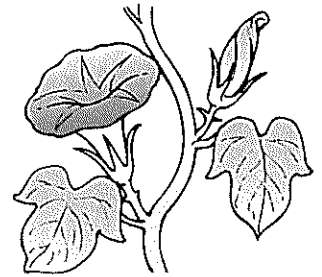
◎議員在職十年以上
茂岡明典司 議員
高橋 禮雄 議員



表彰状を受ける高橋議員 表彰状を受ける茂岡議員

委員会の審査から

各常任委員会に付託された議案、請願については、6月24日から6月28日の間に各常任委員会を開いて慎重に審査した結果、議案はすべて原案可決、請願は採択すべきものと決まり最終日の本会議へ報告されました。



産業建設常任委員会

六月二十四日に委員会を開催し、最初に市道路線の現地視察を行った後、都市公園条例の一部改正など付託された議案三件について、それぞれ説明を受け慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、すべて全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

また、「米国产牛肉の拙速な輸入再開に反対し、BSEの万全な対策を求める」請願については、紹介議員の説明の後、審査を行い、趣旨妥当として、全会一致で採択すべきものと決定しました。

社会厚生常任委員会

六月二十七日に委員会を開催し、老人保健特別会計補正予算など付託された議案二件について、それぞれ説明を受け、慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、すべて全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

総務文教常任委員会

六月二十八日に委員会を開催し、一般会計補正予算など付託

された議案二件について、説明を受け慎重に審査した結果、一般会計予算のうち所管の部分については、特に意見・要望を付すこともなく、全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

また、物品の購入については質疑、討論がなされ、起立採決の結果、原案可決すべきものと決定しました。

また、三十人以下学級の実現をはじめとする教育予算の充実を求める請願など二件については、紹介議員の説明の後、審査を行い、いずれも趣旨妥当として、全会一致で採択すべきものと決定しました。

医療問題特別委員会

去る、五月十一日に特別委員会が開催され、これまでの経過と今後の課題について、委員長より説明がありました。

意見交換の中で、県央三次保険医療圏域についての問題提起と、意見書を提出したいとの要望がありました。

また、七月十三日に特別委員会が開催され、経過説明と今後の取り組みについて意見交換があり、当局と連携し加茂病院の産科の再開や二次医療圏の問題について、県知事へ要望書を提出することになりました。

三十人以下学級の実現など採択

六月定例市議会で受理した請願は三件で、審議の結果、趣旨妥当として採択しました。

世帯かん 3件

▽採択したもの

☆意見書提出を求める請願

・「米国産牛肉の拙速な輸入再開に反対し、BSEの万全な対策を求める」請願（食とみどり、水を守る新潟県民会議議長）

・三十人以下学級の実現をはじめとする教育予算の充実を求める請願（新潟県教職員組合三南支部執行委員長）

・義務教育費国庫負担制度の現行維持を求める請願（新潟県教職員組合三南支部執行委員長）

BSEの万全な対策を求める意見書など四件を提出

定例会最終日の本会議において、議員提出による意見書四件を可決し、関係機関へ提出しました。

その意見書の要約は次のとおりです。

◎米国産牛肉の拙速な輸入再開に反対し、BSEの万全な対策を求める意見書

政府は、米国でBSEの発生が確認されてからは米国産牛肉の輸入を禁止してきたが、発生原因も解明されない中で、輸入再開に向けた動きを進めている。政府においては万全な対策を求め、よって、下記の事項について強く要望する。

記

一、米国産牛肉の輸入再開について、下記の問題点から拙速な輸入再開を行わないこと。

- ①と畜される牛のBSE検査は全体の1%以下にすぎない。
- ②生産・流通履歴をたどるトレーサビリティ制度が整っていない。
- ③特定危険部位の除去は三十ヶ月齢以上の牛に限られていない。
- ④除去された特定危険部位は処分されず、肉骨粉の原料とされ豚や鶏の飼料として流通している。

二、国内のBSE対策については、特定危険部位の除去に関する監視体制の構築など対策

強化の予定であり、全頭検査の見直しは、対策の実効性が確認された後に検討すること。

さらに、検査緩和を行うと若齢牛での検査ができず、検査感度を改良する技術開発にも支障が出るので、全頭検査に対して財政措置を継続すること。

◎三十人以下学級の実現をはじめとする教育予算充実を求める意見書

昨今の教育界はいじめや不登校など、憂慮すべき状況にあり、この教育問題を解決するため画一的な教育から子どもの個性を大切にし、ともに学ぶ教育への転換が求められている。国においては、以下のことを

踏まえ法改正及び財源措置を講ずるよう、強く要望する。

- 一、三十人以下学級の実施を柱とする新たな「義務標準法」を策定すること。
- 二、地域の特性や子どもの発達段階を考慮した弾力的な教職員加配を行うこと。

記

◎義務教育費国庫負担制度の現行維持に関する意見書

現在、「三位一体」改革の議論の中で義務教育費国庫負担制度の見直しが焦点化されているが、この制度は児童生徒への学力保障のため守るべきである。国においては豊かな教育の実現のため、以下の事項について強く要望する。

- 一、教育水準の最低保障を担保するため、義務教育費国庫負担制度を現行維持すること。
- 二、学校事務職員、中学校教職員などを義務教育費国庫負担制度の対象職員として引き続き堅持すること。

記

◎県央地域に救命救急センターを設置し、当地域の医療提供体制の抜本的改善を求める意見書

加茂市・田上町など県央地域における「医の原点とも言われる救急医療」の深刻な現況は、目を覆うばかりである。よって、県において以下の事項の確実な実現を強く要望する。

- 一、県央地域を第三次医療圏として設定し、救命救急センターの設置を図ること。
- 二、県立病院改革においては、地元の意向を踏まえ、地域住民医療の確保・充実の要求に即すること。
- 三、加茂病院は民営化せず、県立病院として充実を図ること。
- 四、医師や病院機能確保など、医療提供体制の充実に上について、市町村と十分協議を行うこと。
- 五、産科の病院が、加茂市・田上町地域に全くなくなった現状にかんがみ、加茂病院の産科をすみやかに再開すること。



産業建設常任委員会の現地視察（高須町地内）

6月定例会 議決状況一覧表

| 議員提出議案 | | |
|--------|-------------------------------------------|------|
| 10 | 米国産牛肉の拙速な輸入再開に反対し、BSEの万全な対策を求める意見書 | 原案可決 |
| 11 | 30人以下学級の実現をはじめとする教育予算充実を求める意見書 | 〃 |
| 12 | 義務教育費国庫負担制度の現行維持に関する意見書 | 〃 |
| 13 | 県央地域に救命救急センターを設置し、当地域の医療提供体制の抜本的改善を求める意見書 | 〃 |
| 市長提出議案 | | |
| 52 | 専決処分の承認 (17年度国民健康保険特別会計補正予算第1号) | 承認 |
| 53 | 専決処分の承認 (17年度老人保健特別会計補正予算第1号) | 〃 |
| 54 | 17年度一般会計補正予算 (第2号) | 原案可決 |
| 55 | 17年度老人保健特別会計補正予算 (第2号) | 〃 |
| 56 | 都市公園条例の一部改正 | 〃 |
| 57 | 市道路線の認定 | 〃 |
| 58 | 監査委員の選任 (安田憲喜氏) | 不同意 |
| 59 | 物品の購入 | 原案可決 |

7月臨時会 議決状況一覧表

| 市長提出議案 | | |
|--------|-------------|------|
| 60 | 体育施設条例の一部改正 | 原案可決 |

連合審査会

六月二十三日に連合審査会を開催し、各常任委員会に付託された議案五件について、総括質疑を行いました。

全員協議会

五月二十三日に月例全員協議会が開かれ、事務に関する説明

書の質疑及び加茂市史の初刊発刊の説明、質疑を行いました。

定例会二日目の六月二十一日に全員協議会が開かれ、専決処分の承認について説明を受け、質疑を行いました。

また、七月二十二日に月例全員協議会が開かれ、ゴルフ世界ジュニア選手権優勝・若林舞衣子選手の栄誉記念章授与の説明

議会 日誌

〈5月〉

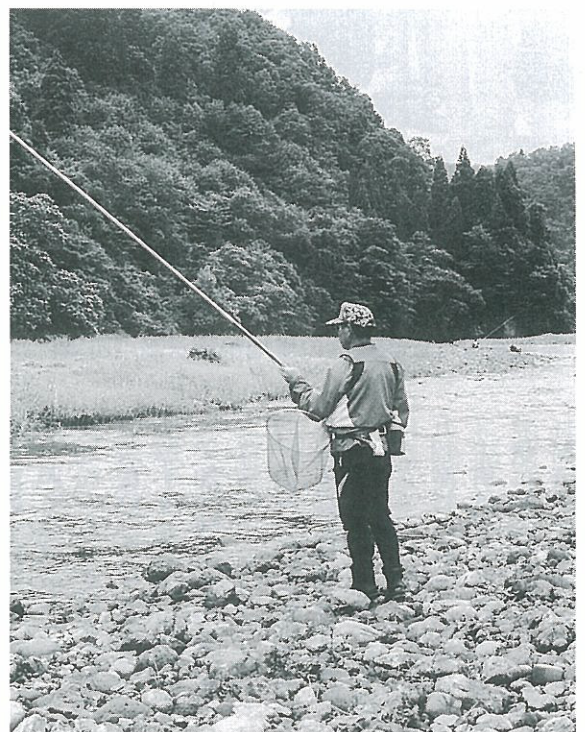
- 9日 産業建設常任委員協議会 出県要望(県庁)
- 11日 医療問題特別委員会
- 12日 各派交渉会
- 17日 各派交渉会

〈7月〉

- 1日 定例市議会
- 7、8日 北信越議長会特別委員会(小諸市)
- 13日 医療問題特別委員会

〈6月〉

- 1日 各派交渉会
- 3日 各派交渉会
- 8日 各派交渉会
- 10日 各派交渉会
- 13日 議会運営委員会
- 16日 議会運営委員会
- 20日 議会運営委員会
- 20、30日 定例市議会
- 23日 月例全員協議会
- 25日 全国市議会議長会(東京)
- 27日 特別豪雪地帯市町村議会定期総会(妙高市)



加茂川上流 (七谷小学校付近)

議会だより編集委員

任期満了により、各常任委員会から次の者が、議会だより編集委員に選出されました。

- 委員長 関 龍雄
- 副委員長 安武 秀敏
- 委員 森山 一理
- 委員 田沢 弘一
- 委員 安中 利男
- 委員 高井 保
- 委員 山田 義栄
- 委員 安中 弘